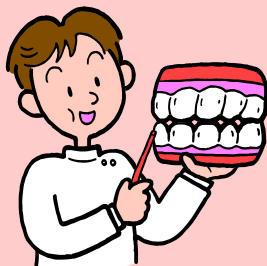


．．．．． 目ごろの疑問の解決のために ．．．．．

第13回 なんでも学術！ なんでも回答？ よろず勉強会

～ お待たせしました 待望のテーマで開催します～



これまで歯科医が医科について学ぶ講演会はたびたび企画されてきましたが、医科側が歯科について学ぶ機会は、なかなかありませんでした。そういえば、患者さんから歯科治療について相談を受けても、適切なアドバイスができていたか心もとないですし、何よりも自分自身の歯の健康など、考える暇もなかったのです。

今回は、歯科部の協力を得ての開催です。医者として「時には患者」として、皆さんのお口の健康について語り合しましょう。 (学術・保険部長／小川滋彦)

メインテーマ 医科に必要な最近の歯科のミニ知識

～自身の口の健康にも役立ちます～

(抄録は裏面にあります)

講師

石川県保険医協会理事・歯科部副部長
小島 歯科医院 院長

小島 登 先生

とき

2010年 9月16日(木) 午後7時半～午後9時

ところ

金沢都ホテル 5階「蓬莱の間」(JR金沢駅東口正面)

対象

保険医協会会員 (参加は無料、定員は先着30人とさせていただきます)

申込み

9月10日まで(講師の先生への質問がある場合は、9月2日まで)に下記にご記入いただき、FAXでお申し込みください。

主催 石川県保険医協会／学術保険部・歯科部

電話：076(222)5373 / FAX：076(231)5156

FAX用・参加申込書

医療機関名 _____

会員ご氏名 _____

講師の先生に聞きたいこと _____ (9月2日まで)

抄 録

(小島 登)

通院している医科の先生に対して思う、次のようなことを30分ほどお話しします。このあたりを議論し、共通認識ができれば、先生ご自身の口の中も健康になり、患者さんからの質問にも適切な対応ができるようになると思っています。また、今回初めての試みですので、さまざまな対話の中から次回のテーマを探していきたいと思います。

*** どういう状態を歯肉炎・歯周炎というのでしょうか**

*** なぜ歯周炎が進んでいくのでしょうか**

*** プロービング^(注)は、なぜ必要なのでしょうか**

*** 歯科医は、どういう時に歯周炎が治癒したと判断するのでしょうか**

*** 定期検診が必要なのでしょうか**

*** 歯科衛生士による赤染め指導やクリーニングを受けましょう**

.....
(注) プロービングは、歯と歯肉の境目の隙間に探針(プローブ)を挿入して、歯周炎の進行度合い(臨床的な歯周ポケットの深さや歯周組織の抵抗力)を調べる重要な検査です。プロービング・デプスは、解剖学的な歯周ポケットの深さと区別し、治療方針や予後の予想に役立ち、良くなっているか悪くなってきたかの目安になります。

歯周炎を理解する上でのキーワードとなりますので、よろず勉強会をお楽しみに。参考までに当院ホームページの「どうして歯周病になるか」<http://www.kojimashika.net/2009/02/post-216.html>の一番下の図「歯周ポケットの値」を見てください。(小島登)